

EU Indicators

欧州経済指標コメント：9月ドイツ鉱工業生産

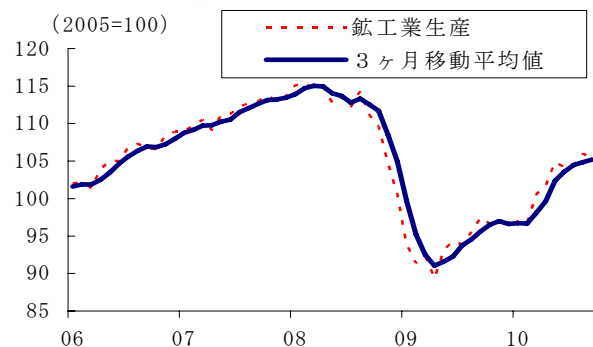
発表日：2010年11月9日(火)

～ユーロ高のラグ効果から製造業活動は軟化するも、大きな打撃は避けられる～

第一生命経済研究所 経済調査部
主任エコノミスト 田中 理
03-5221-4527

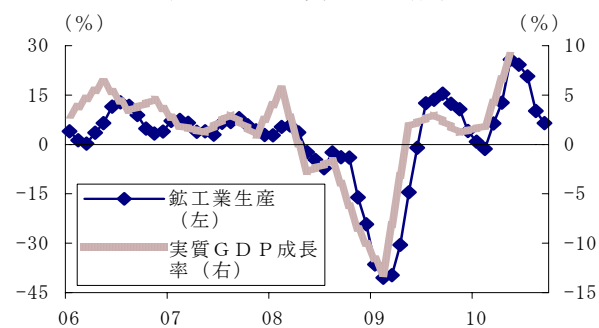
- 9月のドイツの鉱工業生産は前月比▲0.8%と3ヶ月振りの減産。製造業景況感の改善に引きずられて事前のコンセンサス予想はプラス(同+0.4%)を見込んでいたが、前月が高い伸び(同+1.5%)となった後だけにマイナスとなったこと自体にさほど驚きは無い。財別には、前月に急伸した中間財や耐久消費財が落ち込みの主因で、今月の減少が反動の範疇との見方を裏付ける。
- 7-9月期平均では前期比+1.6%と増産基調を維持するも、さすがに4-6月期の同+5.6%からはペースダウン。昨年10-12月期～今年1-3月期に見られたのと同程度の増産ペースに落ち着いてきた。
- 先週の製造業受注統計が示唆する通り、世界景気の減速と夏場以降のユーロ高の影響がラグを伴って顕在化することで、年後半から来年初にかけて、ドイツの製造業活動はやや軟化すると予想される。だが、米Fedの追加緩和を通じたドル安誘導も、その後の米雇用統計改善と欧州財政不安の再燃で歯止めが掛かっており、一方的なユーロ高進行の可能性は遠退いた。現状程度の為替水準であれば、ドイツの輸出企業に大きな痛手となっていないことは、同日発表の貿易統計で輸出の拡大基調が確認されたことから明らかな通り。生産活動を大きく下押しすることはないだろう。

■ドイツの鉱工業生産



出所：ドイツ経済技術省

■ドイツ鉱工業生産と実質GDP成長率



注：鉱工業生産は3ヶ月移動平均、3ヶ月前比年率。
実質GDP成長率は前期比年率。

出所：ドイツ経済技術省、ドイツ連邦統計局

■ドイツの鉱工業生産(季節調整済み、前期<月>比、%)

	2009				2010								
	4Q	1Q	2Q	3Q	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
鉱工業生産	1.0	1.6	5.6	1.6	-0.3	4.0	1.1	3.0	-0.6	0.2	1.5	-0.8	
製造業・鉱業	1.3	2.1	5.7	1.9	-0.2	3.9	1.0	3.2	-0.1	-0.1	1.9	-0.9	
中間財	2.3	2.8	7.0	1.5	0.3	3.4	2.8	2.5	-0.2	0.4	1.7	-2.0	
資本財	0.8	2.2	6.7	2.2	0.5	5.2	0.0	4.5	-0.2	-0.7	2.3	0.0	
消費財	1.1	0.8	0.8	1.6	-2.5	2.6	-1.3	1.8	0.0	0.7	0.7	-0.6	
耐久財	2.4	3.2	3.5	1.9	-1.5	0.0	0.1	5.0	1.5	-0.2	2.1	-5.8	
非耐久財	0.9	0.4	0.3	1.5	-2.6	3.2	-1.6	1.2	-0.3	0.9	0.4	0.4	
エネルギー	-1.4	3.0	-1.6	-0.5	-2.1	-5.7	2.2	3.7	-4.5	1.6	-1.0	1.2	
建設	-1.5	-8.6	15.8	-0.1	-0.5	24.2	2.4	-1.8	-0.8	1.1	-0.2	0.4	

出所：ドイツ経済技術省

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。